

場ワーキンググループを中心に、若手の人材育成と地域振興を目的に、10月にオープンな交流懇親会(ボニーラを予定)を行います。

また、市場動向を見ながら、今年度のテーマを決めて、海外視察、国内視察、会員企業訪問を行います。

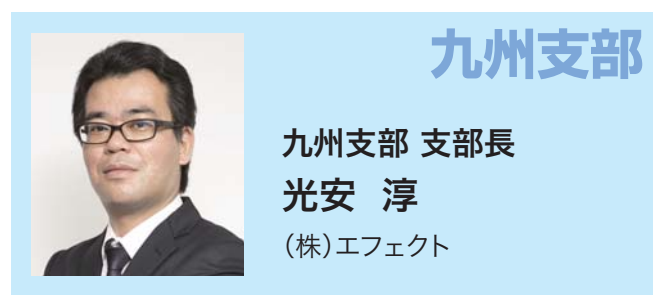
(3)「会員企業間の交流、業界活性化」については、総務ワーキンググループを中心に、6月に行われるETWest初日終了後、会員の方々、出展企業の方々、ご来場の方々との交流会を行います。

また、会員企業の新人研修、中間管理職及び総務関係者の研修を、7月、11月、翌年2月に行います。

(4)支部運営のための支部会議を年数回、会員企業紹介および製品紹介の為に会員月例会を年2回、近畿経済産業局との意見交換会を年2回、会員相互の懇親会、忘年会を、4月、7月、11月に行います。

また、KASAとの連携によるビジネスカンファレンス、賀詞交歓会を行います。

以上、会員の方々のご協力をお願い申し上げます。



このたび、2015年4月17日の九州支部会で、九州支部長に就任させて頂くことと相成りましたので、ここに謹んで御報告申し上げます。

前任の福田教授が、その卓越した技術力とお人柄で、大いに盛り上げてこられた九州支部をお引き受けするのは、身の引き締まる思いが致します。私自身、経験も浅い若輩ではございますが、九州地域での業容拡大・発展のため重大な使命を果たすべく、鋭意専心全力を尽くす所存でございます。

私が掲げる目標は大きく二つあります。

一つ目は、組込みシステム技術の発展・普及への貢献です。前任の福田教授が築いて下さったものをベースに、協業推進セミナーに代表されるタイムリーなイベント・セミナーを、引き続き、開催していきたいと思っております。

そして二つ目は、若手の育成、地場進行です。昨今、世界規模での市場競争が激化する中、日本の“ものづくり”技術も発展し続けています。しかしながら一方で、高度な開発技術や、特殊なスキルを習得している技術者が少なくなっているように感じております。特に、首都圏以外の地域では、その傾向が顕著に現れているようです。技術が、限られた場所、限られた人間に集中し、今後を担う、若手の育成が、なかなか追いつかないと、どこでも耳にします。

思えば、私が新人の頃は、「親方」のような先輩がいて、叱咤されながらも、徹夜で勉強する、といったことも多々ありました。それでも負けずに食らいついていったのは「開発」「組込み」がとにかく好きだったからです。面白かったからです。若手に「組込み」の魅力を感じてもらい、技術を吸収して欲しい。そのために、支部として、会員企業様のお役に立てるような仕組みづくりを行っていきたく思っております。

冒頭にも申し上げました通り、若輩者ではございますが、皆様方のご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いいたします。



JASA国際委員会活動状況報告

TDIプロダクトソリューション(株) 廣田 豊



発足から6年目を迎えたJASA国際委員会は、委員一同、JASA会員の皆様に役立つ海外情報の発信と、海外人脈、海外協会とのネットワーク構築に努めております。

今年は、主に海外協会との交流事業の企画・推進・実施を活動の軸とし、グローバルフォーラムの開催や海外企業とのビジネスマッチング等を予定しております。

1. JASAグローバルフォーラムの開催報告

ET開催に合わせ、毎年アジアを中心に現地事情に詳しい方に講演を頂いております。昨年度はテーマを「成功するプロセスをさぐる」とし、過去の「失敗例から学ぶ」から一歩進めて、成功する

為のマネジメントを学べるように企画しました。基調講演での「新興におけるグローバルビジネス戦略」は大変好評を頂き、聴講者の9割以上の方にご満足頂ける内容となりました。

続く、スリランカの成功モデルについてもJETROを始め、開発を行っている日本企業、現地企業と幅広い講演者による紹介だった為、聴講者から寄せられたどのような質問にも回答ができ、本当に知りたい情報が聞けたのではと思います。もう1地域、ベトナムについては現地企業と日本でのベトナム人登用企業による人材育成などをご講演いただきました。一般論ではなく経験から得られたものの紹介だった為、より実践的で有効な内容となりました。

各講演、パネルディスカッションとも盛況のうち終了しました事、この場を借りて御礼申し上げます。



JASAグローバルフォーラムでの様子



今年度のテーマ、対象国は、より皆様のニーズに応えられるよう、5月に実施される会員アンケートを基に決定いたしますのでご期待下さい。

2. 海外協会への委員派遣・交流事業

協会間での交流の場の設定、協会情報の交換、ビジネス/オフショア開発のサポートの実現に向けて活動を致します。国際委員会設立の起点であった中国の協会、毎年興味のあるエリアとして注目度の高いベトナムの協会との交流強化を日本の柱として進めていく予定です。

2-1. 中国の協会(CISA)との交流強化

近年、オフショア先ではなくマーケットとして転換期を迎えている中国について皆様の興味も高いと考えております。国際委員会としては、現地の情報が発信できるよう、中国の協会との協力関係を深めて参ります。まだ具体的な内容は調整中ですので、今後適時展開して参ります。

2-2. ベトナムの協会(VINASA)との交流強化

継続的に交流を続けているVINASAとは昨年度は下記のような活動を実施しました。

・VINASA訪問 ベトナムのVINASAを訪問し、VINASAとの今後

の関係についてヒアリングを行いました。ここで、ビジネスマッチングや教育など、いくつかのテーマを発掘しました。

・VINASA来訪 VINASA企業の12社がJASAを訪問し、意見交換会を実施しました。

ビジネスマッチングやインターンシップ等について意見交換した結果、3月頃にビジネスマッチング開催を検討することを合意致しました。ご興味のございます方はぜひご参加下さい。

また、余談ではありますがこの意見交換会の後、VINASA企業数社が弊社を訪問され組込み開発企業の現場を見学して頂きました。すでに組込みを請けている方、これから期待している方と様々な方がおりましたが、生の現場を見て非常に満足されておりました。

3. 委員会の開催と国際だより

委員会は2ヶ月に一回の定例会と、必要に応じて臨時の会合を開催しております。上記に上げましたテーマについて議論し、推進していく場です。委員会としての施策を練る為に、識者によるスピーチや他機関による活動内容の紹介など、有意義な内容となっております。スピーチの内容や会員企業の皆様に有益な情報は委員会のHPに掲載しておりますので、ご興味のある方はぜひご覧下さい。また、各イベントなどの状況は国際だよりでも発信いたします。

尚、委員会スピーチを聴講されたい方はお気軽に事務局にご相談下さい。

今年度より国際委員も増えました。活動の場を増やし、皆様のお役に立てる国際委員会でありたいと存じますので、海外での事業展開を検討されている企業におかれましては是非ご活用頂ければ幸いに存じます。



委員会での様子



VINASA企業がJASAを訪問。意見交換会での様子

